令和７年３月１７日

令和６年度　とうきょう すくわくプログラム推進事業　活動報告書

園名	台東区立石浜橋場こども園
所在地	台東区橋場１－３５－１

１．活動のテーマ

＜テーマ＞

身近な環境に関わり探究する幼児（自然環境）

＜テーマの設定理由＞

・自然が少ない都内の園であるが、野菜、植物の栽培や虫の観察、自然の会などを通して様々な自然に触れることで、感性を豊かにし、知的好奇心を広げて、見たり、考えたり、調べたりすることを楽しんでほしいと考えた。

２．活動スケジュール

５月　野菜の一人一鉢栽培、親子での栽培、学級、園全体での野菜、草花の栽培をする。
５月 11 月　プロナチュラリストの佐々木洋先生を招聘し、自然観察を行う
通年　自然物を使った色水遊び、ごちそうづくり、製作など
　　虫探し、飼育物の世話など
　　興味をもったことについて、図鑑で調べたり、よく観察したりする。

３．活動のために準備した素材や道具、環境の設定

〇栽培物を大切に育てることができるように
　・土、苗、植木鉢、水やりなどの栽培に必要な環境、観察しやすい場
〇さまざまな自然物や自然事象に興味・関心がもてるように
　・園庭の環境の見直し（ダンゴムシハウス、ざっそうレストラン、虫のマンション、様々な草花、ハーブ）
　・興味・関心を深めるための図鑑、虫メガネ、観察ケースなど

４．探究活動の実績

＜活動の内容＞

〇一人一鉢ずつ野菜の苗を植え、水やりをしたり、脇芽取りをしたりして世話をした。毎日継続して行うことで、生長に気付いたり、苗の元気がないことに気付きどうしたらよいかを考えたりする姿が見られた。野菜が実った時に喜んで収穫し、どう調理して食べるかを保護者と嬉しそうに相談する姿も見られた。
〇自然の会では、その環境に応じた講師の話を聞き、実際ににおいをかいだり、触ってみたりして、虫や鳥, 木、草花などについて新たな発見をした。
〇園庭にハーブや朝顔の花などを栽培し、においや色を楽しみながら色水作りやごちそう作り、製作などを楽しんだ。
〇園庭のダンゴムシハウスや畑、花壇などを探索し、虫を見付けて虫眼鏡で見たり、図鑑で調べたりして興味・関心を深めた。

＜活動中の子供たちの姿・声、子供同士や子供と保育者との関わり〉

〇野菜の栽培をしていく中で、野菜の大きさの違い、花と実の色の変化など気付いたことを友達と伝え合い、更によく観察しようとする姿が見られた。保育者は大切に育てている姿を認めながら、実がなったり花が咲いたりした喜びや、一人一人の気付きに共感してきた。
〇自然の会では、けやきの木の皮のパズルを友達と相談しながら楽しんだり、池に泳いでいるカモの色の違いに着目して種類の違いがあることに驚いたりと、様々な場面で自然の面白さ、不思議さを感じていた。
〇園庭での色水遊びや虫探しでは、一人でじっくりと試行錯誤する姿が多かった。保育者は一人一人の興味・関心に応じてよりじっくり考えたり、試したりできるよう援助した。

＜活動の様子＞

5．振り返り

〇親子栽培では、親子で野菜を育てることにより、登降園時間に親子同士のコミュニケーションが生まれていた。どうしたら元気に育つかを一緒に考え、水のやり方や脇芽の取り方など工夫する姿から、一緒に育てるという意識をもつことが大切であることが分かった。
〇自然の会では、その場で見つけた虫や自然物などについて教えてもらうことで、子供たちがすぐに触れたり、においをかいだり、と五感を使った直接体験をすることができた。生き生きとした表情で自然の面白さを味わう姿が見られ、そのような環境の大切さに気付くことができた。
〇園庭の環境を見直し、自らすすんで興味・関心のあることに取り組める環境づくりに努めたことで、材料や用具などを選んで工夫したり、試したりする面白さを感じる姿が見られた。環境づくりの大切さを実感することができた。